

2023年度

## 第36回 キッチンスペシャリスト資格試験

### 学科試験問題用紙

試験日：2023年12月3日

試験時間：9：45～11：45（120分）

試験問題数：全36問

#### （試験上の注意）

1. 受験票は、受験番号記載面を外にして三つ折りにし、受験番号記載面を上にして机（原則として通路側）に置いてください。
2. 試験開始前に問題用紙（1部）、解答用紙（1枚）があることを確かめ、不足があれば速やかに手をあげて監督者に申し出てください。
3. 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないでください。
4. 解答用紙の注意事項を読んで、氏名（フリガナ、漢字）、受験番号、性別、生年月日を記入およびマークしてください。  
※解答用紙提出前に、マークのぬり間違いが無いかを再度ご確認ください。（特に受験番号）
5. 解答用紙の記入には、鉛筆またはシャープペンシル（BまたはHB）を使用してください（万年筆、ボールペンは不可）。
6. 試験中は筆記用具以外（例えば携帯電話、電卓、参考書など）の使用を禁止します。
7. 試験問題の内容に関する質問については、誤植の確認以外の一切にお答え致しません。乱丁落丁があれば、手をあげて監督者に申し出てください。
8. 試験開始から90分以内および試験終了5分前以降は退出を禁止します。退出可能時間内に退出される方は手をあげて合図をし、解答用紙を監督者に手渡して、静かに退出してください。なお、試験開始時刻を繰り下げて実施する場合、90分以降も退出を禁止する場合があります。
9. 問題用紙はお持ち帰りください。
10. この試験問題を販売すること、または、無断転載および複写複製（コピー）することを禁じます。

公益社団法人 インテリア産業協会

第1問 家計や家庭生活に関する次の1～4の記述の□部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 生活水準の指標とされるエンゲル係数は、高度経済成長期に所得が高くなるにつれ、低下してきたが、2005年頃から上昇傾向に転じ、近年は約□ア%程度になっている。

【語群】 1. 20                      2. 25                      3. 30

2 家計構造を調べると貯蓄残高がもっとも高いのは□イ世帯であるが、2015年から下降傾向にある。

【語群】 1. 夫婦と未婚の子のみの非共働き  
2. 夫婦と未婚の子のみの共働き  
3. 高齢者

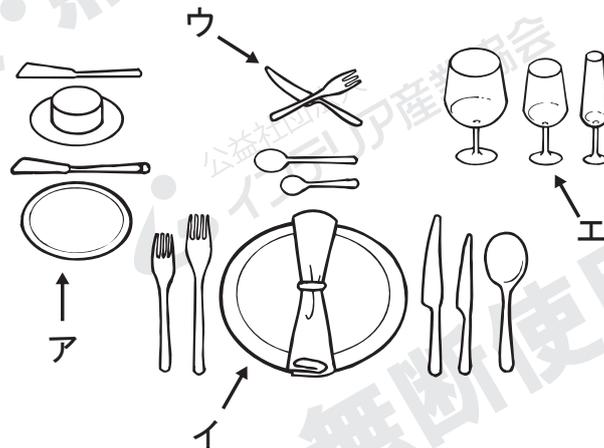
3 コロナ禍の影響で□ウと呼ばれる食生活スタイルは減少している。

【語群】 1. 肉食                      2. 外食                      3. 中食

4 コロナ禍における家計の消費支出の特徴として、□エ支出が著しく減少している。

【語群】 1. 光熱・水道                      2. 教養娯楽                      3. 家具・家事用品

第2問 次の西洋料理のテーブルセッティングの図中ア～エの各部分について、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。



【アの語群】 1. パン皿                      2. スープ皿                      3. サラダ皿  
【イの語群】 1. 位置皿                      2. デイナー皿                      3. ミート皿  
【ウの語群】 1. 肉用ナイフ                      2. デザートナイフ                      3. 魚用ナイフ  
【エの語群】 1. ゴブレット                      2. タンブラー                      3. ワイングラス

第3問 住まいの変遷に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 武家社会において接客時の対面と格式を重視する様式の住宅

【語群】 1. 寝殿造 2. 書院造 3. 数奇屋造

イ 明治後期に資本主義が発達し都市に中産階級が生まれたことによってできた住宅

【語群】 1. 中廊下型住宅 2. 洋館建築 3. 同潤会アパート

ウ 公営住宅の標準設計51C型に初めて採用され、その後普及した居室

【語群】 1. ダイニングキッチン  
2. 応接間  
3. 夫婦寝室

エ 建物の躯体と内装設備を分離して、自由にデザインあるいは増改築できる住宅

【語群】 1. バリアフリー住宅  
2. サステナブル住宅  
3. スケルトン・インフィル住宅

第4問 住宅の供給、構造、環境への取り組みに関する次の1～4の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで解答欄の番号にマークしなさい。

1 新設住宅着工戸数（年間）は、第1次オイルショックがあった1973年の約  ア  万戸をピークとし、その後は少子高齢化の進行などの影響から減少している。

【語群】 1. 110 2. 150 3. 190

2 日本の気候風土に合うとされる  イ  は、主として柱や梁で構成され、外観や間取り、開口部の取り方が比較的自由で、増築も容易であることを特徴とする。

【語群】 1. 木造軸組工法 2. 丸太組工法 3. 枠組壁工法

3 構造体としての強靱な性能を持ち合わせた  ウ  は、耐火性、遮音性に優れ、ラーメン構造、壁式構造のいずれにも採用されている。

【語群】 1. 組積造 2. 鉄骨造 3. 鉄筋コンクリート造

4 環境と経済を両立する循環型社会を形成するため、住宅業界においても3R（スリーアール）「 エ 」、「Reuse」、「Recycle」により、環境負荷を低減する取り組みが行われている。

【語群】 1. Reform 2. Reduce 3. Resale

第5問 日本のキッチン・バスの変遷やタイプに関する次の1～4の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 1964年の東京オリンピック開催に間に合わせるべく建設されたホテルニューオータニにおいて、短工期と防水性の課題を克服するため、 ア  ユニットが開発された。

【語群】 1. キッチン 2. 洗面化粧 3. バス

2 ステンレス流し台を備えたダイニングキッチンに対して、部材が標準化され、ビルトイン機器が組み込まれたシステムキッチンは、1970年代に  イ  から輸入されたことが普及の契機となった。

【語群】 1. アメリカ 2. イギリス 3. ドイツ

3 調理しながら家族と会話がしやすく、小さい子どもに目が届きやすい  ウ  キッチンは、「コミュニケーションの場」に向けたキッチンといえる。

【語群】 1. ウォール型 2. 独立型 3. 対面型

4 キッチンやバスルームなどの水廻りや階段等を集中配置するコアプランは、コアの役割によってそれぞれ、配管の集中化（設備コア）、 エ  の集中化（構造コア）、平面プランの合理化（平面コア）などの利点がある。

【語群】 1. 間仕切り壁 2. 耐震壁 3. 帳壁

第6問 キッチンの歴史に関する次の1～4の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 近世の頃より、関西の町屋（町家）では、「通りニワ」の壁際には、 ア  で使うかまどや流しを並べて設置し、調理をしていた。

【語群】 1. 座式 2. つくばい式 3. 立式

2 近代になり、海を埋め立てて街を拡張したことからほとんどの井戸水は塩分を含み、飲み水には適さなかったことから、良質な水を確保することを目的とし、明治20年（1887年）に  イ  で日本初の近代水道が敷設された。

【語群】 1. 横浜 2. 大阪 3. 函館

3 1956年に日本住宅公団晴海高層アパートに採用された  ウ  流し台は、以後、生活感に富む文化的生活のシンボルとなり、需要が急増していった。

【語群】 1. 人造石 2. モザイクタイル 3. ステンレス

4 いざなぎ景気による経済の高度成長後、消費者の欲望はさらに高まり、1968年には従来の3Cに代わって「別荘」、「セントラルヒーティング」、「 エ  」が新三種の神器と呼ばれる時代があった。

【語群】 1. カラーテレビ 2. 電子レンジ 3. クーラー

第7問 キッチンのプランニングに関する次の記述のうち、最も不適当なものを2つ選んで解答欄の番号にマークしなさい。(1行に2つの番号をマークしないこと)

- 1 クローズドキッチンには、作業性や設備、収納量、メンテナンスの計画がしやすい。
- 2 ミニキッチンには、加熱調理器と小シンクを組み込んだユニットキッチンを使用することができる。
- 3 U字型キッチンの調理動線は、1列型キッチンに比べると長くなる。
- 4 オープンキッチンでは、調理に伴う音や臭気に対する配慮が必要であり、LDKを広めにとることが求められる。
- 5 別荘のキッチンは、機能性と非日常の調理を楽しめる配慮が重要であるが、使用頻度が低くても、使用後の清掃や封水切れ等のメンテナンスの配慮は必要である。

第8問 キッチン・バスの人間工学に関する次の1～4の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 調理台やシンクに接近した作業姿勢の安定には、アが重要な役割を果たす。  
【語群】 1. 蹴込 2. バックガード 3. ワークトップ
- 2 キッチン作業では包丁を手にした場合の最も作業のしやすい手の位置がイになる。  
【語群】 1. 作業面 2. 作業点 3. 作業域
- 3 食卓を円形テーブルとして椅子を4席設ける場合には、テーブルと椅子を含めて直径約ウmm以上の食事スペースが必要とされている。  
【語群】 1. 1600 2. 2500 3. 3000
- 4 洗い場と浴槽とのまたぎ高さをエmm程度にすると、一般に浴槽への出入りがしやすいとされている。  
【語群】 1. 300 2. 400 3. 500

第9問 キッチンの作業に関する次の1～4の記述の□部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 作業点を基準にして考えると、加熱調理機器の高さは、調理台の高さよりも約□ア設定するとよい。

【語群】 1. 5 cm 低く 2. 3 cm 低く 3. 3 cm 高く

2 作業点を基準にして考えると、こねる作業を行う場合、調理台の高さよりも□イ設定するとよい。

【語群】 1. 5 cm 低く 2. 3 cm 低く 3. 3 cm 高く

3 シンク作業において「もたれバー」を使用することにより、床にかかる重量の低下から下肢への負担が□ウ%程度低減するとされている。

【語群】 1. 5 2. 15 3. 30

4 いすを使用してキッチン作業をする前提で作業台の高さを設定するには、座面高さを使用者の身長□エ程度とするとよい。

【語群】 1. 1/6 2. 1/4 3. 1/2

第10問 動作空間に関する次の記述のア～エについて、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

車いすで使用するワークトップの高さは、食事をするテーブルの高さ□アと考えてよい。ただし、その下部に奥行き□イmm以上の下肢領域を確保する必要がある。

足腰が不自由になると入浴動作が困難になるため、浴室や浴槽への出入用、浴槽内や洗い場での立ち座り用などの手すりの設置が必要であり、握りやすい手すりの太さは□ウmm程度が目安である。また、洗い場移動用の手すりの設置高さは□エmmがよい。

【アの語群】 1. より高い 2. と同じ 3. より低い

【イの語群】 1. 300 2. 400 3. 600

【ウの語群】 1. 30 2. 45 3. 60

【エの語群】 1. 550～600 2. 750～800 3. 950～1000



第13問 給排水・給湯に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 経済性や夏の渇水対策として、建物内で使用した排水を浄化し、再利用する用途

【語群】 1. スロップシンク用 2. 洗濯機用 3. 屋外散水用

イ 上水系統と中水系統の配管が直接接続されている状態

【語群】 1. ウォーターハンマー  
2. フラッシュバルブ  
3. クロスコネクション

ウ 水道によって供給される水が備えなければならない水質上の要件が決められている法律

【語群】 1. 水道法  
2. 水質汚濁防止法  
3. 品確法（略称）

エ 経済的とされる夏季・冬季における電気温水器の貯湯温度の一般的な目安温度（℃）

【語群】 1. 夏80・冬65 2. 夏65・冬80 3. 夏80・冬80

第14問 建築基準法に関する次の記述のア～エについて、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

耐火建築物以外の建築物で、DK、LDKなどの複合キッチン空間を設けた場合、室内全体の壁、天井に  以上の仕上材を使用しなければならない。また、キッチンとダイニングとの間に天井から  cm 以上の  の垂れ壁を設け、かつ、キッチン空間の壁と天井を（ア）以上で仕上げれば、キッチン以外のダイニングやリビングは内装制限を受けない。

さらに、2009年の国土交通省告示により、戸建て住宅のキッチンにおいて、こんろ周りを  で仕上げれば垂れ壁が不要となる等、内装制限が緩和された。

【アの語群】 1. 準不燃材料 2. 不燃材料 3. 特定不燃材料

【イの語群】 1. 30 2. 40 3. 50

【ウの語群】 1. 準不燃材料 2. 不燃材料 3. 特定不燃材料

【エの語群】 1. 準不燃材料 2. 不燃材料 3. 特定不燃材料

第15問 キッチン設備の寸法（JIS A 0017）に関する次の1～4の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 ウォールユニットの奥行きの呼び寸法は、 ア mm 以下である。

【語群】 1. 350                      2. 400                      3. 450

2 台輪のけこみの奥行き（深さ）は、 イ mm 以上である。

【語群】 1. 30                      2. 40                      3. 50

3 ユニットに機器を組み込むための開口部の奥行きは、ユニットの奥行き寸法から  ウ mm を減じた寸法を最小とする。

【語群】 1. 40                      2. 50                      3. 60

4 ユニットに機器を組み込むための開口部の幅は、ユニットの幅寸法（呼び寸法）から  エ mm を減じた寸法を最小とする。

【語群】 1. 40                      2. 50                      3. 60

第16問 キッチンの部品・部材の構成に関する次の1～4の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 わが国のシステムキッチンは、主としてヨーロッパで開発された  ア システムキッチンの輸入から始まり、多様な内製化に切り替えてきたものである。

【語群】 1. 簡易型                      2. 部材型                      3. 一体型

2 国内生産に切り替える際の大きな変化として、わが国独自の  イ の寸法体系に適合する特有のモジュール寸法などのソフト面と、機器を組み込むハード面の工夫があった。

【語群】 1. 建築                      2. インテリア                      3. 窓サッシ

3 キッチン主要部を構成するキャビネットやワークトップに組み込み、電気・ガス・水道等を制御し利用する機器は、総じて  ウ 機器ということがある。

【語群】 1. ビルトイン                      2. ドロップイン                      3. スライドイン

4 ワークトップの水仕舞をよくするために使用する  エ は、ワークトップとの一体型と、別部品とする分離型がある。

【語群】 1. シンク                      2. バックガード                      3. ガスケット

第17問 システムキッチンの部材・部品に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア キャビネットのボックスにおいて、パネル材として使用されることが多い材料

- 【語群】
1. インシュレーションボード
  2. ハードボード
  3. パーティクルボード

イ ボックスを構成する天板、側板などのパネル材端部を45度の角度に切断し、樹脂を使用して接合する組立構造

- 【語群】
1. ダボ構造
  2. インジェクション構造
  3. ホゾ構造

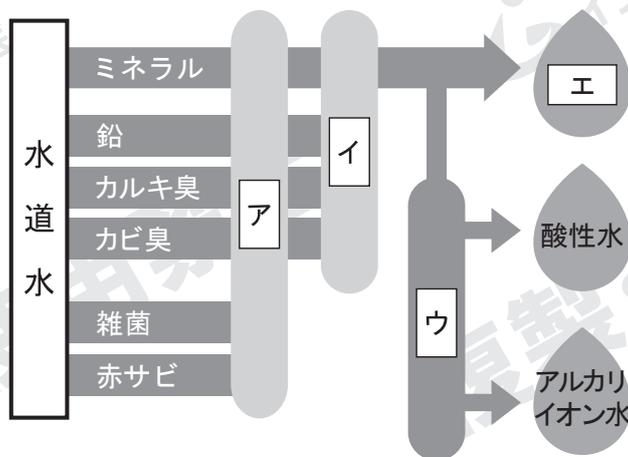
ウ キャビネットの側板の木端がほとんど見えない扉の納め方

- 【語群】
1. アウトセット
  2. オフセット
  3. インセット

エ 扉のデザインとの一体化を図りながら、システムキッチンと建物の壁や天井などとの取り合いを調整する部品

- 【語群】
1. スペーサー
  2. フィラー
  3. サイドパネル

第18問 次のアルカリイオン整水器の仕組みの一例に関する次の記述のア～エについて、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。



雑菌や赤さびは  でろ過され、水道水中のカルキ臭やカビ臭などは  によってろ過される。

(ア) と (イ) でろ過された水は、水質切替スイッチを操作することで  によって生成された酸性水またはアルカリイオン水を切り替えて使用するか、そのままミネラルを含んだ  として使用することができる。

- 【アの語群】
1. 活性炭フィルター
  2. 中空糸膜フィルター
  3. ゼオライトフィルター

- 【イの語群】
1. ストレーナー
  2. セルロースフィルター
  3. 活性炭フィルター

- 【ウの語群】
- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 1. 貯水槽 | 2. 加熱器 | 3. 電解槽 |
|--------|--------|--------|

- 【エの語群】
- |        |       |        |
|--------|-------|--------|
| 1. 蒸留水 | 2. 浄水 | 3. 冷却水 |
|--------|-------|--------|



第21問 電気と電気設備に関する次の1～4の記述の□部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 電圧（V）、電流（I）、抵抗（R）の関係を表したオームの法則では□アする。

- 【語群】
1. 抵抗が一定のとき電流と電圧は比例
  2. 電圧が一定のとき抵抗と電流は比例
  3. 電流が一定のとき電圧と抵抗は反比例

2 上記のオームの法則は、□イの式で示される。

- 【語群】
1.  $V = R \times I$
  2.  $R = V \times I$
  3.  $V = I / R$

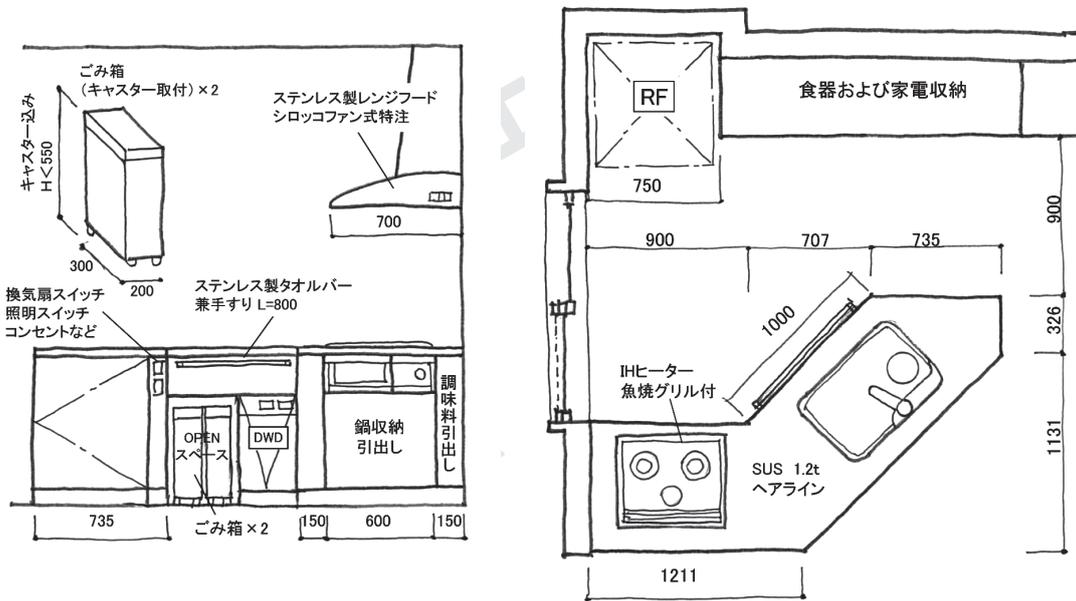
3 電力は電流×電圧、電力量は電力×□ウで計算される。

- 【語群】
1. 時間
  2. 電流
  3. 電圧

4 エアコンや冷蔵庫ではインバーター方式が採用されることがあり、その多くは□エを変化させてモータ回転数を制御することにより適正な出力を得て省エネルギーを実現している。

- 【語群】
1. 周波数
  2. 電流
  3. 抵抗

第22問 下のワークトップ廻り打ち合わせ図に関する次の記述のうち、最も不適当なものを2つ選んで解答欄の番号にマークしなさい。(1行に2つの番号をマークしないこと)



- 1 冷蔵庫置き場として用意されているスペースは間口750mmである。
- 2 ワークトップは人造大理石である。
- 3 シンク下のオープンスペースには高さ650mmのキャスター付ごみ箱が2個収まっている。
- 4 キッチンへの通路幅は900mmである。
- 5 加熱調理機器は電磁調理器である。

第23問 キッチンの製図に関する次の1～4の記述の□部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 対象物の見える部分の輪郭を示す輪郭線は、□アで描く。

【語群】 1. 中位の実線                      2. 中位の破線                      3. 中位の一点鎖線

2 対象物の見えない部分の形状を示すかくれ線は、□イで描く。

【語群】 1. 細い実線                      2. 細い一点鎖線                      3. 細い破線

3 寸法を記入するための寸法線は、□ウで描く。

【語群】 1. 細い実線                      2. 細い破線                      3. 細い一点鎖線

4 キッチン全体を詳細に表現する図面は、□エの縮尺で描かれるのが一般的である。

【語群】 1. 1 : 1 ~ 1 : 5                      2. 1 : 10 ~ 1 : 50                      3. 1 : 100 ~ 1 : 150

第24問 表示記号に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 次図に示す材料構造表示記号が表す意味

- 【語 群】
1. 軽量壁一般
  2. 普通ブロック壁
  3. 鉄筋コンクリート壁



イ 次図に示す設備表示記号が表す意味

- 【語 群】
1. 給水栓（水栓）
  2. 給湯栓（湯栓）
  3. ガス栓



ウ 次図に示す表示記号が表す家電機器

- 【語 群】
1. 衣類乾燥機
  2. 給湯器
  3. 電子レンジ



エ 次図に示す略記号が表す意味

- 【語 群】
1. 長さ
  2. 厚さ
  3. ピッチ



第25問 建築及びキッチン図面に関する次の1～4の記述の□部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 建築基準法では、建築物の各階又はその一部で、壁その他の区画の中心線で囲まれた部分の水平投影面積を□ア□という。

【語群】 1. 床面積 2. 延床面積 3. 建築面積

2 図面に用いる略記号で「L」は長さ、「D」は奥行き、「□イ□」は天井高を示す。

【語群】 1. HL 2. CH 3. SH

3 キッチン空間の平面図では□ウ□寸法を基準として表示する。

【語群】 1. 芯々 2. 外形 3. 内法

4 取り付け用の下地板を確認するための取付施工図は、一般的には□エ□の縮尺を用いる。

【語群】 1. 1/1 2. 1/10 3. 1/100

第26問 キッチンの設計に関する次の1～4の記述の□部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 リフォーム工事に関する設計条件の収集では、関連法規、一般構造・設備等の状況を把握し、さらに、表面から見えない床・壁・天井等の□ア□の現状、床下・天井懐の寸法などを確認する。

【語群】 1. 造作材 2. 仕上材 3. 下地材

2 発注者が□イ□の場合は、要求・希望を未整理で持っている場合が多く、設計条件収集の早い段階から、面談でこれらを整理していくことが重要である。

【語群】 1. 中間ユーザー 2. 住宅設計者 3. エンドユーザー

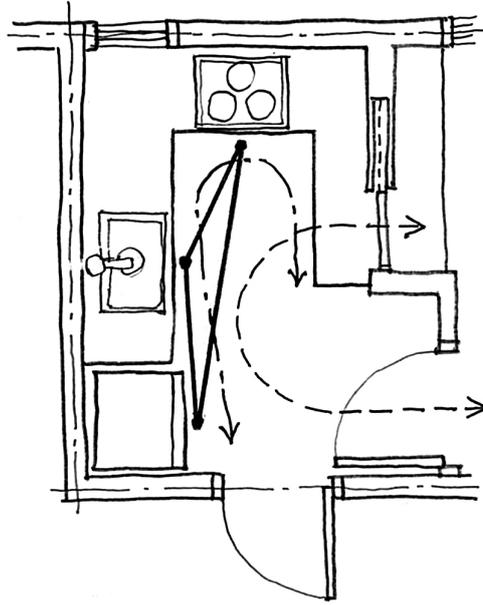
3 キッチンの設計段階には□ウ□の作成も含まれる。

【語群】 1. 見積 2. 施工図 3. 工程表

4 基本設計における計画図では、部材・機器の配置、キッチンと建築の□エ□を明確に示すことが求められる。

【語群】 1. カラースキム 2. 取り合い 3. 施工手順

第27問 キッチン平面図のエスキス作成に関する次の記述のア～エについて、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。



キッチンの設計方針を探るため上図に示すエスキスを作成した。

このエスキスプランでは、キッチンタイプの空間は  ア とし、キッチンのレイアウトパターンは  イ とした。このエスキスプランでは、調理動線を確認するための  ウ や配膳の使い勝手を確認するための  エ を線と矢印等で示している。

- |        |               |           |           |
|--------|---------------|-----------|-----------|
| 【アの語群】 | 1. 独立型        | 2. 複合型    | 3. オープン型  |
| 【イの語群】 | 1. 2列型        | 2. アイランド型 | 3. U字型    |
| 【ウの語群】 | 1. ワークトライアングル | 2. ハッチの位置 | 3. 出入口の位置 |
| 【エの語群】 | 1. 家事動線       | 2. サービス動線 | 3. 回遊動線   |

第28問 キッチンの施工実務に関する次の1～4の記述の□部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 L字型やU字型のフロアキャビネットの設置では、固定する前に□ア□などを用いて、ワークトップのジョイント部に段差が生じていないか確認する。

【語群】 1. クランプ 2. 下げ振り 3. 直定規

2 施工完了後の水漏れ確認では、シンクを満水にして排水ホースの先端を止め、□イ□時間程度は放置して、接合部から水が漏れないことを確認することが望ましい。

【語群】 1. 0.5 2. 1.5 3. 2.5

3 多くの地域の火災予防条例において、レンジフードファン付属のグリスフィルターと特定の安全装置を備えた□ウ□付ガスこんろの火源との離隔距離は600mm以上とされている。

【語群】 1. 防熱板 2. バックガード 3. 調理油過熱防止装置

4 引き渡し前に施主立会いのもとで行う竣工検査において、施工不良があった場合は、□エ□とすることを確認し、その工事を完了させて引き渡しとする。

【語群】 1. サービス工事 2. 追加工事 3. 駄目工事

第29問 施工の確認に関する次の記述のア～エについて、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

キッチンの施工終了後、キャビネット類の埃・汚れは□ア□などで拭き取る。現場作業で生じた廃棄物の処理にあたっては、廃棄物処理法（略称）や□イ□に従って処理を行う。ガス・電気工事が完了していることを確認の上、キッチン工事担当者は□ウ□に基づいて試運転を実施する。さらに、最終確認後、安全の説明書、取扱説明書、□エ□などの書類を、施主に確実に引き渡す。

【アの語群】 1. シンナー、アルコールなどの溶剤

2. 家具用ワックス

3. ウェス

【イの語群】 1. 建設リサイクル法（略称）

2. 容器包装リサイクル法（略称）

3. 環境基本法

【ウの語群】 1. 設計図書

2. 取扱説明書

3. 施工計画書

【エの語群】 1. 建築確認申請書（副本）

2. 保証書

3. 建築検査済証

第30問 マーケティングに関する次のア～エの記述に対して、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 消費者調査の手法のうち、質問や尺度を統一することで、多数の消費者から標準化された回答を収集するのに用いられる手法

【語群】 1. 購買データ分析 2. 消費者アンケート 3. 消費者インタビュー

イ マーケティング・コンセプトのうち、ビジネスにおいて最も古い概念

【語群】 1. 市場志向 2. 社会志向 3. 生産志向

ウ 商品自体は完成品であるが、業者が購入し、設置や工事を行ってユーザーに引き渡される財

【語群】 1. 中間財 2. 消費財 3. 生産財

エ 企業のマーケティング・プロセスにおける事業領域の設定の次に位置するプロセス

【語群】 1. マーケティング実行計画の策定  
2. 標的市場の設定  
3. マーケティング・ミックスの構築

第31問 販売概論に関する次の1～4の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 キッチン・バス工業会統計データによると、国産キッチンの出荷台数における  ア の出荷台数は、1980年から2015年にかけて5年刻みで見ると減少している。

【語群】 1. システムキッチン  
2. セクショナルキッチン  
3. システムおよびセクショナルキッチン

2 業界自主統計によると、2015年度のシステムキッチンのワークトップの材質別出荷台数のうち、最も多かったのは  イ である。

【語群】 1. ステンレス 2. メラミン樹脂 3. 人工大理石

3 コミュニケーション活動において  ウ はプル戦略に含まれない。

【語群】 1. 広告 2. パブリシティ 3. リバート政策

4 店頭やショールームにあるPOPとは、Point of Purchaseの頭文字をとったもので、日本語では  エ という。

【語群】 1. 購買時点広告 2. 販売促進 3. 販売場所

第32問 契約に関する次の1～4の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 ある仕事を完成させ、注文者がその仕事に対し報酬を支払うことを約束する契約を  ア 契約という。

【語群】 1. 請負 2. リース 3. 雇用

2 訪問販売においてクーリング・オフが適用になる期間は、クーリング・オフがなじまない商品、役務の場合や特定商取引法等に反する勧誘をされた場合などを除き、法定の契約書面等が交付された日を含めて  イ 日間である。

【語群】 1. 5 2. 8 3. 14

3 売買契約が成立するのは  ウ ときである。

【語群】 1. 当事者間の意思表示が合致した  
2. 代金が支払われた  
3. 財産権が相手方に移転した

4 売買代金300万円の内金としての手付100万円が売主に対して支払われた場合、買主が契約の履行に着手する前に売主は  エ 円を現実に提供すれば契約を解除できる。

【語群】 1. 100万 2. 200万 3. 300万

第33問 販売基礎、販売関連法規に関する次の1～4の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 借入金に対する支払利息は  ア に含まれる。

【語群】 1. 営業諸経費 2. 特別損失 3. 営業外費用

2 法律の第1条で、消費者の利益の擁護を図ることが目的として定められているのは  イ である。

【語群】 1. 消費者契約法 2. 製造物責任法 3. 特定商取引に関する法律

3 キャッシュフロー計算書は、企業の支払い能力を意味する会社経営の  ウ 性を確認するのに適している。

【語群】 1. 成長 2. 収益 3. 安定

4 「消費者の権利の尊重」及び「消費者の自立支援」その他の基本理念が定められている法律は  エ である。

【語群】 1. 消費者基本法 2. 消費者安全法 3. 消費者保護基本法

第34問 あるキッチンメーカーの利益管理に関する次の記述のア～エについて、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

	昨年度	今年度
売上高	200億円	220億円
固定費	70億円	75億円
変動費率	60%	70%

同社の収支は昨年度が  億円の黒字であったが、今年度は一転して  億円の赤字に転落した。固定費の増加は主に  の増加に起因している。今年度の損益分岐点売上高は、昨年度の175億円から  億円に増加した。

- |        |        |         |          |
|--------|--------|---------|----------|
| 【アの語群】 | 1. 5   | 2. 10   | 3. 15    |
| 【イの語群】 | 1. 5   | 2. 7    | 3. 9     |
| 【ウの語群】 | 1. 人件費 | 2. 原材料費 | 3. 販売手数料 |
| 【エの語群】 | 1. 230 | 2. 240  | 3. 250   |

第35問 販売関連法規に関する次の記述のうち、最も不適當なものを2つ選んで解答欄の番号にマークしなさい。(1行に2つの番号をマークしないこと)

- 1 コンプライアンスとは、一般的には、法令などのルールを守って企業活動に従事することを意味する。
- 2 民法において、売買契約は、当事者の一方がある財産権を相手方に移転することを約し、相手方がこれに対してその代金を支払うことを約することによって、その効力を生ずる。
- 3 製造物責任法によれば、製造業者等は、引き渡した製造物の欠陥により他人の生命、身体又は財産を侵害したときは、これによって生じた損害を賠償する責めを負う。
- 4 個人情報保護法では、個人情報の扱いを外部に業務委託する際に委託先を監督することまでは企業に求められていない。
- 5 消費者による契約の解除が適用される取引形態は、消費者基本法に規定されている。

第36問 キッチンの構成部材・機器またはその素材に表示するマークに関する次のア～エの記述に対して、それぞれの図群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 優良住宅部品認定時にシステムキッチンに表示されるマーク

【図 群】 1. 2. 3.



イ キャビネットに使用するパーティクルボードに表示されるマーク

【図 群】 1. 2. 3.



ウ ガス瞬間湯沸器（開放燃焼式）に表示されるマーク

【図 群】 1. 2. 3.



エ 電気温水器に表示されるマーク

【図 群】 1. 2. 3.

